

## 最も注力するSDGs目標



サステナビリティを  
変革の力に

  
accenture



**デジタルとサステナビリティを活用することで、  
社会に有意義な変革を起こすことができると  
確信しています。**

## アクセンチュアが取り組むSDGs

アクセンチュアは、国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」達成にむけて、環境・社会・経済のサステナビリティにおける重要な課題解決に貢献し、全てのステークホルダーに価値をもたらすイノベーション創出を実現するため、全社で取り組みを展開しています。SDGsの分類と取り組みの優先順位を様々な角度から分析し、事業を通じてより効果的に貢献できると考えられる優先度の高い8つのSDGs目標を特定し、活動を推進しています。



サステナビリティに配慮したスタジオ



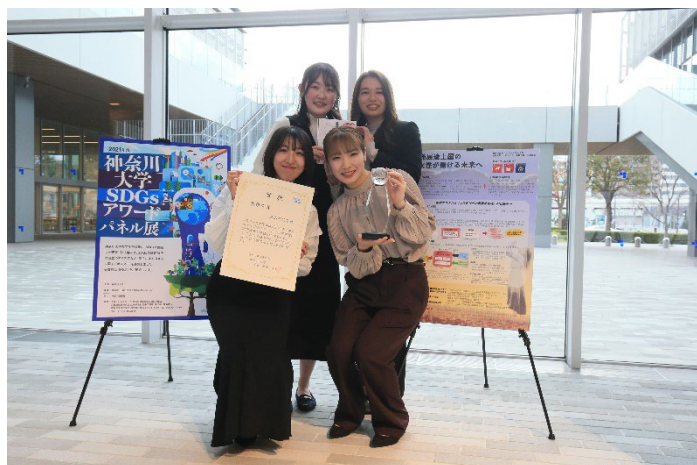
使用電力のCO2をゼロ化したスタジオで動画配信・収録

## **横浜駅東口すぐ！** **動画の収録・配信はCO2排出量ゼロ化した** **「社会課題解決型のスタジオ」がオススメ！**

SDGsに関する情報収集および発信の拠点として誕生した動画配信スタジオ「with GREEN PRINTING」。

**特徴①** 「社会課題解決型動画スタジオ」であること。地域や社会課題解決の情報に触れることができ、情報を発信することもできる場所です。使い方はそれぞれ。動画配信や収録の他、各種イベントも開催可能。社会課題解決商品の展示や販売も。

**特徴②** 脱炭素・カーボンニュートラルの時代、徹底的にカーボンオフセットをした環境印刷「CO2ゼロ印刷」と共に地域や社会を変えていくコンセプト。スタジオの使用電力は全てカーボンオフセットされているので、サステナビリティに配慮したイベントやセミナーにもぴったりです。



最優秀賞は「発展途上国の女性が働ける未来へ」（灘山ゼミ2年）



各チームがプレゼンテーションを行い、受賞作品が決定。

## SDGsの認知と意識を高めることを目的とした ポスターコンクール「神奈川大学SDGsアワード」 を開催

神奈川大学では、SDGsの認知と意識を高めることを目的に、在学生を対象としてSDGsに関連した研究・取り組みや、SDGsの課題解決に役立つアイデア等、「学生によるSDGsの取り組み」を表現するポスターを募集するコンクール「2021年度 神奈川大学SDGsアワード」を開催。38作品の応募があり、プレゼンテーションを経て9作品が受賞。うち5作品は協賛企業賞として、アワード終了以降も各企業は授与チームに活動支援を検討。2022年度は12月11日に開催。

# 崎陽軒

(株) 崎陽軒



『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』

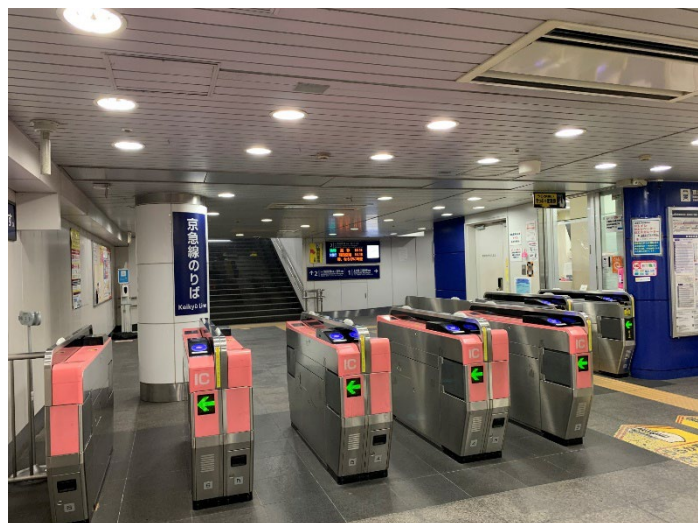


崎陽軒本店（横浜駅 東口）「地産地消フェア」

## 神奈川県内の各所と連携をして、 「食材のロス削減」と「地産地消」に取り組む中！

崎陽軒では生産工程で発生する食材のロス削減に日々取り組んでおりますが、期間限定製品で使用した食材や、生産工程で発生する規格外のサイズ、形の食材などを活用した『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』を10月の食品ロス削減月間に合わせて販売しました。容器や箸などの包材も「脱プラスチック」に取り組みました。

横浜駅東口の崎陽軒本店のレストランでは、各店趣向を変えながら、地産地消フェアを行いました。料理長が探し出した神奈川県産の美味しい食材（恵寿卵、ちよい茸、小松菜、いちじく など）を使用したお料理を提供し、ご好評をいただきました。



駅業務用電力イメージ



京急グループ本社へ再生可能エネルギー由来電力導入

## 京急線横浜市内19駅の業務用電力量を 再生可能エネルギーに置き換えました。

京浜急行電鉄株式会社は、持続可能な社会の実現に向けた地球環境への取り組みとして、2021年12月分から京急線の一部駅における業務用電力量および京急グループ本社で使用される電力量を、再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力に置き換えました。

東京電力エナジーパートナー株式会社が横浜市内の事業者に提供する、横浜市内において創出した環境価値を活用した実質CO2排出量がゼロとなる電力メニュー「はまっこ電気」を導入し、横浜駅や上大岡駅をはじめとする横浜市内4か所の変電所から配電される計19駅において、業務用電力使用によるCO2排出量が実質的にゼロとなりました。



## 地域と協働し、安心・安全なまちづくりのための ポスターを作成！

当社はSDGs達成に向けて、地方自治体、学校、公共交通機関等と当社IPとのタイアップによる地域貢献を積極的に行っています。その一環として、直近では『三國志 霸道』を用いた神奈川県の暴力追放啓発ポスター、『信長の野望・新生』を用いた足利市の山林火災防止ポスターを作成しました。当社の強みである、長く愛されてきたキャラクターを用いることで、啓発を効果的なものにするとともに、魅力あるまちづくりに貢献しております。地元横浜にとどまらず、地域とのパートナーシップ形成にも努めており、昨年には足利市と包括連携協定を締結しました。今後も啓発活動のみならず、職業教育等を通じて持続可能な社会に貢献してまいります。



Food and Agriculture Organization  
of the United Nations

# 国際連合食糧農業機関（FAO） 駐日連絡事務所



©Benedicte Kurzen/NOOR for FAO

## 「**誰**一人取り残さない。より良い生産、 より良い栄養、より良い環境、より良い生活」

国連食糧農業機関（FAO）は、世界の農林水産業の発展と農村開発に取り組む国連の専門機関です。

世界の人々の栄養と生活水準および農業生産性を向上し、特に開発途上国を中心に貧困と飢餓に苦しむ人々の栄養状態と生活水準を改善することによって、すべての人が健康な生活を送ることを目指しています。

より良い生産、より良い栄養、より良い環境、そしてより良い生活のために、より効率的、包摂的、レジリエントで持続可能な農業・食料システムへの変革を通じ、誰一人取り残さない社会を目指します。各種データも取り揃えておりますので、詳細はホームページをご覧ください。



World Food Programme

# 認定NPO法人 国連WFP協会



学校給食は未来への希望 ©Mayumi Rui



©WFP/Rein Skullerud

## 「**飢餓**ゼロ」を目指して、今こそ行動を！ ～学校給食で子どもたちの未来を広げよう～

世界の全人口の10人に1人、8億を超える人々が飢餓に苦しんでいます。国連WFPは飢餓と貧困をなくすことを使命とする国連唯一の食料支援機関。戦争や紛争時の緊急支援、栄養状態の改善、学校給食の提供などを柱に120以上の国と地域で活動しています。SDGsの目標2「飢餓をゼロに」をはじめとして、関連の深いテーマを多く抱え、そのゴールの達成に日々努力しています。たとえば、国連WFPの学校給食は子どもたちの栄養状態を改善し、就学率を向上。教育の普及が貧困や不平等をなくし、国の自立や発展の基盤となり、多くのSDGsの目標の達成にもつながります。

・ HP : <https://ja.wfp.org/>





## 屋上公園を中心に、SDGsに関するイベントなど 各種取り組みを推進中！

相鉄線横浜駅に直結するショッピングセンター「ジョイナス」の屋上には、40年以上にわたりお客様の憩いの場所として親しまれている緑豊かな公園が広がります。この「ジョイナスの森彫刻公園」を活用した芋掘りイベントやSDGs関連のワークショップを実施している他、フードドライブやコスメ、衣類の下取りキャンペーンなど、ジョイナスでのお買物や体験をきっかけにSDGs活動にふれ、楽しく学び、気軽に生活に取り入れていただける取り組みを実施しています。ジョイナスでは、これからもサステナブルな社会実現のため、地球にやさしい施設を目指してまいります。



# (株) そごう・西武 そごう横浜店



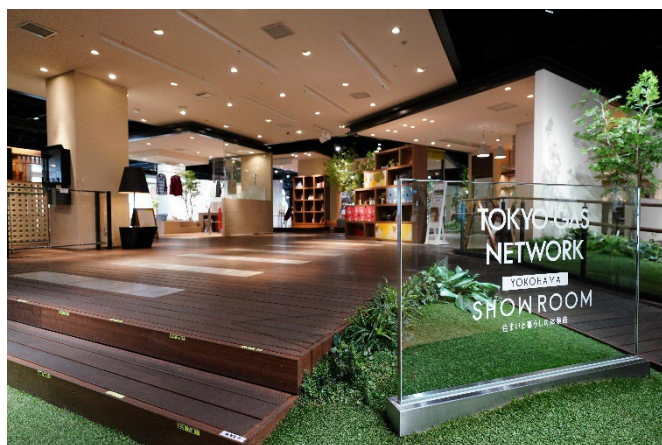
靴を手にするザンビア共和国のこどもたち



サッカー遊びをするこどもたち

## ザンビアのこどもたちの命を守る 「こども靴下取りサービス」

そごう・西武では2009年9月から各店に「こども靴下取りコーナー」を常設。使わなくなったこども靴をお客様からお預かりし、国際協力NGOジョイセフを通じてザンビア共和国へ届けて、こどもたちの足を寄生虫病や破傷風から守る活動を行っています。お持ちいただいたこども靴は1足につき、お買上げ金額税込5,000円ごとに1枚ご利用いただける「500円の割引券」とお引き換えします。これまでに下取りしたこども靴は、そごう・西武全店で累計111万足にのぼります。(2022年11月末時点)



MARK IS みなとみらい4階にある横浜ショールーム外観



身近な食生活からはじめるエコ活動をご紹介します

## マークイズみなとみらいにある横浜ショールームには、エコでガスのある豊かな暮らしのヒントがたくさん！

東京ガスグループでは、「クリーンなエネルギーを安全に安定的かつ低コストでお届けし、持続可能な暮らし・まちづくりに取り組む」ことでSDGsの達成に貢献していきます。横浜市西区にある横浜ショールームは、ガスのあるエコで豊かな暮らしを目で見て、肌で感じていただき、新しい魅力を発見していただける「住まいと暮らしの体験館」です。自宅で電気をつくり、お湯も同時につくりだす家庭用燃料電池「エネファーム」など、快適に省エネを実現するヒントが沢山あります。また、環境に優しいエコ・クッキングの考え方を取り入れたさまざまな料理教室を開催しています。詳しくはHPをご覧ください。



# 日産自動車（株）



## 日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を推進し、災害時に電気自動車を活用した電力供給を実施

電気自動車（EV）の普及は、社会や人々の生活をも変える可能性を秘めています。「いつもの時」はエコな移動手段や家庭の電源として、「もしもの時」は走る蓄電池として被災地を支援する電源となります。日産は、EVを活用した日本電動化アクション「[ブルー・スイッチ](#)」を推進し、地域と共に社会の課題解決に取り組んでいます。

2020年1月には、横浜市とEVを活用した「災害連携協定」を締結。災害発生時には、日産と市内の日産販売店が連携し、EVを各区役所に貸与するほか、西区のグローバル本社では、帰宅困難者にEVを活用した電力供給を行います。EVの蓄電機能を活用することで災害時の貴重な電源の確保が可能となります。



## 環境に配慮した配達等によりSDGsの達成に向けて 取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します

環境に配慮した低排出ガス車両等を導入している他、電気自動車の増配備や郵便局照明のLED化等を積極的に進めます。また、地域の皆さまが安心して暮らせる社会を実現するため、例えば、横浜市西区西土木事務所と道路損傷等の早期発見を目的とした協定を締結する等、地域の活性化や災害時の協力等、幅広い分野で地域と連携をしています。

郵便・貯金・保険の3つのユニバーサルサービスをはじめ、皆さまの生活を支えるサービスの提供や手紙を書く楽しみ等を体験してほしいという願いから学校教育における手紙の書き方体験授業の支援、環境に配慮した配達等によりSDGsの達成に向けて取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。



## サステイナブルな運営で選ばれる施設を目指し、 地域の活性化に貢献します

パシフィコ横浜では、SDGs達成にむけ、環境負荷の低減と事業活動を通じた地域社会・経済への貢献に取り組んでいます。

- ・施設内で排出される産業廃棄物の「100%リサイクル」
  - ・食品廃棄物をバイオマス発電に活用して再利用する「エネルギーの地産地消」
  - ・屋上緑化によるヒートアイランド現象の緩和や、雨水再利用による節水
  - ・みなとみらい公共駐車場・ノース駐車場の「EV・PHV用普通充電器」設置
  - ・横浜市等との災害時における施設提供に関する協定の締結
  - ・みなとみらい大盆踊りをはじめとした地域交流活動の支援
- ・ HP : <https://www.pacifico.co.jp/pacifico/approach/sustainability/tabid/610/Default.aspx>



ウォーキングイベントで社員のみなさまから公募した写真展

順位	チーム名	歩数
1位	Everyday8000	10222歩
2位	今年ごと!	9449歩
3位	ゆっぴりっぴり楽しく歩活	9240歩
4位	NSC かつし	8420歩
5位	NSC 春の歩活エウォーカー	7949歩
6位	かっぴりやうて	7786歩
7位	おやこやれチーム	6922歩
8位	テレフでもテウるせ!	6783歩
9位	夏までに減量したい男	6616歩
10位	TEAM PokeeNSC	6254歩
11位	Team OSC-PCPR	5336歩
12位	増えろ!褐色脂肪細胞	5323歩
13位	1日1回外に出る	5210歩
14位	心を癒やせ!チーム644	5182歩
15位	ちーむ ひらた	4933歩
16位	O歩ok 誰でも	4428歩
17位	特次野郎 S88A チーム	4425歩
18位	組 SHIKIBU	4272歩
19位	NSC 春の歩活	3651歩

年に2回実施のウォーキングイベントでのランキング

## 社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる職場環境づくりの実践

当社では、「ウェルビーイング（従業員の成長の実現とその力を最大限に発揮できる機会の提供）」と「安全衛生（安全で健康的な職場環境の提供）」の取り組みとして全社で推進していくものと位置づけています。

社員と家族の健康の保持・増進、職場環境の整備に取り組むことで、生産性の向上、個人・組織の活性化、人材リテンション力の向上を図り、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる職場環境づくりを目指し、「座ったままカンタン♪腰痛体操」の実践や「女性の健康セミナー」、「教えて! 歯医者さん」、「みんなで禁煙チャレンジ」、ウォーキングイベント「みんなであ歩活」を実施しています。

- HP : <https://www.fujitsu.com/jp/group/csl/>  
<https://www.fujitsu.com/jp/group/csl/about/health/index.html>



自然エネルギーで暮らす電力プラン。

みんな電力エポスプラン  
MINNA DENRYOKU EPOS PLAN

「みんな電力×エポスカード」

家庭で使う電気を、地球環境にやさしい再生可能  
エネルギーへ切り替える取組みを実施

詳しくはこちら

<https://www.epocard.co.jp/minden/index.html>





みなとみらい本町小学校の児童たち。SDGsを身近に実感！



世界最大級の冷凍機。冷房に使用するエネルギーを効率良く製造

## 冷暖房や給湯に使う熱エネルギーのプラント見学を通じてSDGsを学ぶ、みなとみらい本町小学校の児童たち

地域熱供給とは、建物の冷暖房や給湯に使う熱エネルギーを製造し、地下の導管を通じて届けるシステムです。横浜ランドマークタワーやパシフィコ横浜をはじめ、みなとみらい21中央地区内の65件の建物へ供給しています(2022年12月現在)。地域全体で必要な熱エネルギーをまとめて製造することで、建物毎に冷暖房を行う場合に比べて省エネルギー効果が得られます。CO2排出量も減らすことができ、地球温暖化防止や気候変動対策に寄与しています。効率の良い機器の運転や街の発展に合わせ最新の高效率機器を増設・更新を行うことで地区の環境価値向上に貢献しており、SDGsの達成に向けて努めています。



Bank of Yokohama

# (株) 横浜銀行

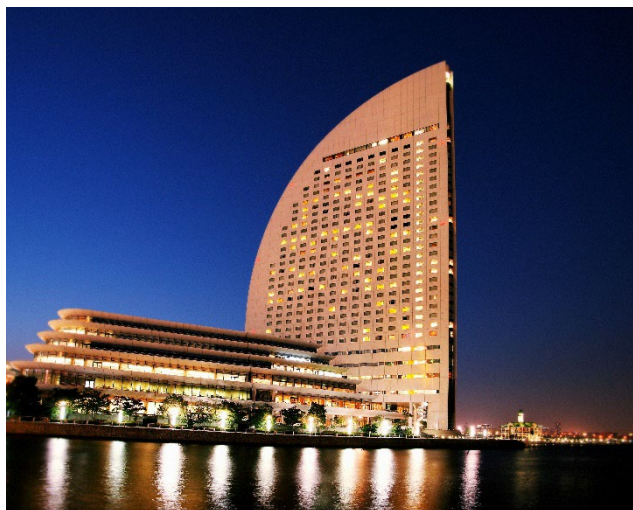


## 人生に寄り添う便利な道具＝おかねについて、 こどもから大人まで楽しく学べる 「はまぎん おかねの教室」

横浜銀行は、地域の金融リテラシー普及・向上のため、独自の金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室」に取り組んでいます。2020年12月に開設したウェブサイトでは、おかねの基礎教育となる「おかねの価値」や「おかねを使うこと」「金銭管理」など、“おかね”について学べる動画やおこづかいちょう、学校等ですぐに使える教材、クイズなどの楽しく学べるコンテンツがたくさんあります。単なる“おかね”に関する知識の勉強だけではなく、“おかね”という切り口を通じて社会や経済の仕組み、働くことの意味、人生の生き方など、生きていくうえで必要な力を育むことを目指します。

・ HP : <https://www.boy.co.jp/boy/brand/okane/index.html>

# ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル



使い捨てバスアメニティをポンプ式大型ボトルへ変更

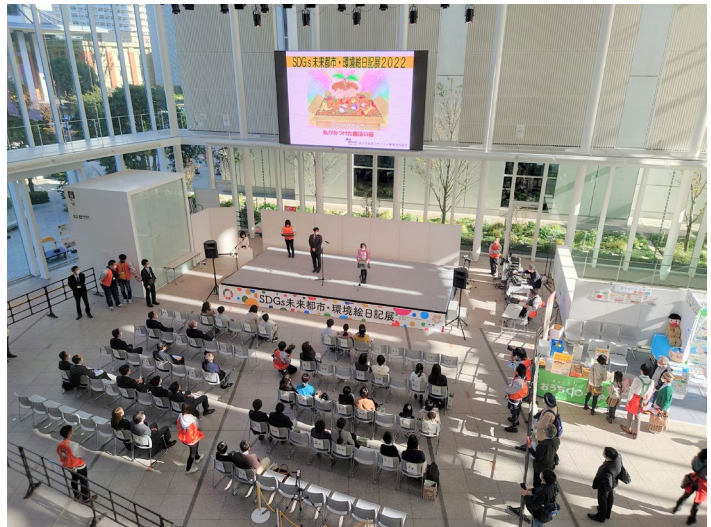
## "Journey to Tomorrow"

### 必要なことだけでなく、社会のために良いことを

ホテル開業当初（1991年）より広く環境保護および地域社会に貢献することを目的として設立した“Good Earthkeeping（グッド・アースキーピング）委員会”を中心に、周辺エリアの清掃や海洋環境保護活動、ボランティア活動など「目の前の、できることから」の実践を目標に日々活動を行う。また、環境に配慮した客室アメニティおよび包材の使用、使い捨てバスアメニティのポンプ式ボトルへの変更をはじめとする環境配慮への取り組み、また外国人従業員や女性活躍等のダイバーシティ推進への取り組みなど、グローバルホテル企業として業界に先駆けた活動を展開。



2022年環境絵日記大賞受賞作品



SDGs未来都市・環境絵日記展2022の様子

## 子どもたちへのSDGs普及啓発のため 「環境絵日記」の取り組みを実施！

「環境絵日記」は、環境問題や環境保全について子どもたちが家庭で話し合ったことや自分で考えた内容を絵と文章の組み合わせで自由に表現するものです。小学生の頃から環境問題を家族で考えることで、子どもたちが環境に対する正しい知識や意識を身につけていくことを願い、毎年夏休みに横浜市内の子どもたちから募集するこの取り組みを当組合では2000年から実施し、2022年度には22回目を迎えました。また横浜市と共催し、毎年11月末には、応募作品から選ばれた優秀作品や横浜市以外の国内協力都市、海外からの応募作品を展示・表彰する「SDGs未来都市・環境絵日記展」も開催しています。



横浜シティ・エア・ターミナル  
Yokohama City Air Terminal

# 横浜シティ・エア・ターミナル（株）



## 照明のLED化とクリーンエネルギー利用による 省エネ・CO2削減の実現

横浜シティ・エア・ターミナルでは、YCATバスターミナル及びバス駐待機場施設の照明を蛍光灯からLEDに交換し、省エネ・CO2削減を実現しています。また、バス駐待機場施設へのソーラーパネル・蓄電池の設置により、クリーンエネルギーを利用することで、施設内消費のエネルギー及びCO2の削減を実現しています。今後も従業員を啓発して社会的責任の自覚を促し、事務室・休憩室の退室時消灯や資源ごみの分別への協力などの取り組みを継続し、環境への配慮と同時に利用者にとって安全・安心で快適な高速バスターミナルを目指してまいります。



# (一社) 横浜西口エリアマネジメント



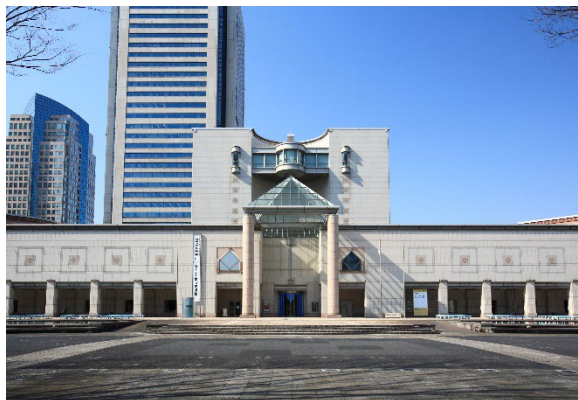
清掃と水上散歩を楽しめる「横浜西口クリーンアップカヤック」



公共空間にて街ごみを活用したリメイクプランタンワークショップ

## 楽しみながら街や水辺をクリーンアップして 快適な空間を

横浜西口エリアマネジメントでは、横浜西口の街を快適な空間にすべく、様々な清掃活動に取り組んでいます。中でも、KOKOPELLI+とともに定期的で開催している「横浜西口クリーンアップカヤック」はリピーターの方をはじめ、多くの方にご好評いただいている人気のアクティビティです。参加者がカヤックによる横浜西口の水辺散歩や自然観察を楽しみながら、陸上からは回収できない水面のゴミを回収する「清掃活動」を行なう達成感と「アクティビティ」の楽しみを同時に味わえることが最大の魅力です。そのほか、今年から地域の事業者や自治会、行政などの皆様と協力して大規模な街の清掃を行なう「クリーンアップリレー」を開催しました。



撮影：笠木靖之



## 横浜美術館は現在休館中。PLOT 48（横浜美術館仮拠点）を中心に様々な活動を継続。

### ●SDGsの取組

横浜美術館は、大規模改修工事のため休館中。2023年度中の再開館を目指して、PLOT 48（横浜美術館仮拠点）を中心に様々な活動を継続中。

- ・「みんなと、いろいろ、みなという」横浜美術館の工事中の真っ白な仮囲いを、年齢、性別、出身、障がいの有無等に関わらず100人の方の個性を表した色で彩るプロジェクトを展開中。
- ・「walking practice –ケアではない共存のためのトレーニング–」車椅子を運ぶ体験を通じてコミュニケーションや障がいについて考えるワークショップを実施。

### ●感染症拡大防止に向けた対策

マスク着用、体温測定、手指消毒等を徹底。



SHERATON  
Yokohama Bay Hotel & Towers

# 横浜ベイシェラトン ホテル& Towers



レストランシェフ達が契約農家へ訪問し、旬の新鮮野菜を自ら選定

**ホテル内で排出される生ごみを堆肥化し契約農家へ提供。農園で栽培された新鮮野菜をレストランで提供！**

2008年より「自立循環型食品リサイクルループ＝ヤサイクル」をいち早く採用。レストラン等から排出される食品残さをホテル内で堆肥化し契約農家へ提供、そこで栽培された新鮮野菜を購入し、おすすめ料理としてご案内することにより食品廃棄ロスの削減に繋がっています。更に神奈川県下の農畜水産物やそれらを使用した加工品などの特産品を取り入れた「神奈川朝食」をご提供しながら地産地消も推進しています。又、国際フェアトレード認証コーヒーをティーラウンジにて導入するなどSDGsへの取り組みを積極的に行いました結果、「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」において、最上位<Supreme>認証を取得しています。

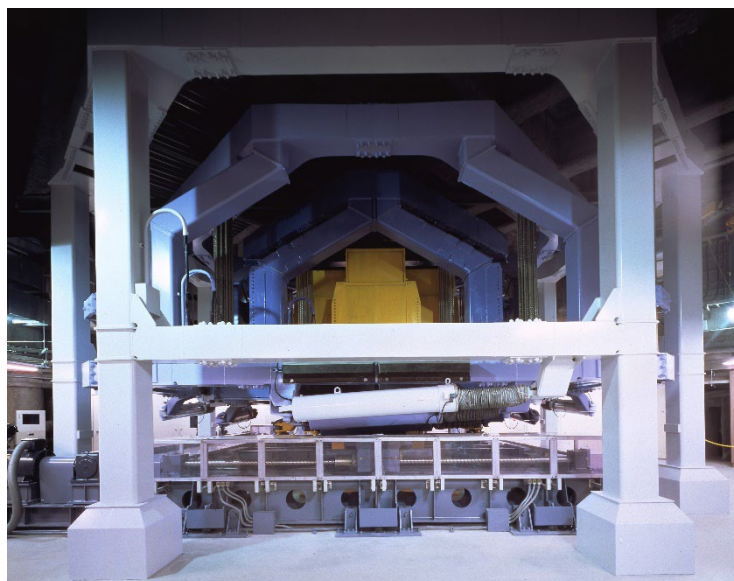
・ HP : <https://yokohama-bay-sheraton.jp/>





THE  
LANDMARK TOWER  
YOKOHAMA

# 横浜ランドマークタワー



## 横浜ランドマークタワーの耐震性能： 2基の制振装置によって風や地震時の揺れを 60～70%軽減

持続可能な開発目標の11 住み続けられるまちづくりを：  
横浜ランドマークタワーは新耐震基準を上回る耐震性能を有したビルで、超高層ビルに対する風や地震時の揺れ、長周期地震動にも振り子の原理を応用し、コンピューター制御により揺れを軽減する2基の制振装置（Hybrid Mass Damper システム）により、建物の揺れを60～70%軽減する制振設計となっています。



YOKOHAMA  
ROYAL PARK HOTEL

# 横浜ロイヤルパークホテル



閉店間際にテイクアウト商品をお求めやすい価格で随時販売



一部客室でプラスチック使用量を削減したエコアメニティを導入

## 【横浜市初】横浜市SDGs認証制度 「Y-SDGs」最上位認証事業者“Supreme”を取得

デリカショップでは、食品ロス削減のフードシェアリングアプリTABETEと提携し、閉店間際に商品をお求めやすい価格で随時販売。売り切ることができなかったブレッドは、クラブラウンジでの朝食時に無償提供しています。レストランでは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入する認証ワイン、国際フェアトレード認証コーヒーを導入。また、地産地消の取組みの推進として、積極的に神奈川県産の食材を取り入れ、レストランや宴会で提供しています。その他、一部客室では、プラスチック使用量を削減したエコアメニティを導入。これらの取組みが認められ、横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」最上位認証事業者“Supreme”を取得しました。



## CYCLE-Mini Flea Market

### お客さまへブランドを通してモノを大切に使う 重要性を発信

11月5日（土）・6日（日）の2日間、JR横浜タワー3Fアトリウムにて「モノが、暮らしが、素敵にめぐる日。」をテーマに、大切に受け継がれてきたヴィンテージアイテムを取り扱うショップや、輸入や生産時の環境負荷が少ない手段でお菓子づくりを行なう焼菓子ショップ、地元神奈川県厳選した野菜を取り扱うショップなど4ブランドが一同に集結した「CYCLE-Mini Flea Market」を開催。

お客さまへブランドを通してモノを大切に使う重要性をお伝えし、SDGsについて考えていただくきっかけづくりをおこないました。